

都市農地活用支援センター定期講演会 2020

□ ■ 農空間への市民ニーズの拡がり ■ □

2020年11月10日(火)東京ウィメンズプラザ ホール

次第

13:15 開会・主催者あいさつ

13:25 情報提供

・国土交通省より(15分)…資料1

都市局 都市計画課

一言 太郎 課長補佐

・農林水産省より(15分)…資料2

農村振興局 都市農村交流課 都市農業室

今川 義英 課長補佐

(質疑応答)

14:10 講演1

「都市農地—市場の〈外〉にあることの贅沢」(75分)…資料3

岡部 明子 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

(質疑応答)

～ 休憩 ～

15:50 講演2

「利用権の視点から農と住を考える」(30分)…資料4

大木 祐悟 (定期借地権推進協議会 運営委員長)

(質疑応答)

16:25 閉会

※お配りしたアンケートへの回答にご協力ください

主催 : 一般財団法人都市農地活用支援センター

共催 : 定期借地権推進協議会

後援 : 国土交通省、一般社団法人全国農業協同組合中央会

§ 講師プロフィール §

■ 岡部明子（おかべ あきこ） 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
環境学博士（2005年）。建築家。

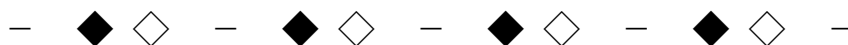
1985年、東京大学工学部建築学科卒業後、磯崎新アトリエ(バルセロナ)に勤務。

1989年、東京大学大学院建築学専攻修士課程を修了後、1990年に堀正人と Hori & Okabe, architects を設立。

2004年より千葉大学教授などを経て、2015年より現職。

専門は建築環境デザイン、建築まちづくり、公共空間論などの授業を担当。

著書には、「高密度化するメガシティ」（編著、東京大学出版会、2017）、「バルセロナ」（中公新書、2010）、「サステイナブルシティーEUの地域・環境戦略」（学芸出版社、2003）、「ユーロアーキテクト」（学芸出版社、1998）ほか。



■ 大木 祐悟（おおき ゆうご） 定期借地権推進協議会 運営委員長

早稲田大学商学部卒業。旭化成工業株式会社入社後、1993年から借地問題、集合住宅、都市農地問題、高経年マンションの再生等をはじめとする不動産コンサルティング業務に携わる。

現在は、旭化成不動産レジデンス株式会社マンション建替え研究所に所属。また、2007年から定期借地権推進協議会推進協議会運営委員長に就任、現在に至る。

著書に「定期借地権活用のすすめ」、「マンション建替えの法と実務」（共著）他。また、2022年問題については「住宅新報」で昨年4月に連載等。



【配布資料リスト】

1. 講演資料

資料1、資料2、資料3、資料4

2. 関連資料

- 「自治体政策支援室」をご活用ください
- 主な出版物のご案内
- 情報誌「都市農地とまちづくり」最新号目次
- 「一問一答 新しい都市農地制度と税務」案内

(別添)

- ・ 質疑応答メモ
- ・ 一般財団法人都市農地活用支援センター業務案内
- ・ 出版物申込書
- ・ 『『農』の機能発揮支援アドバイザー派遣事業』案内
- ・ 令和元年度『農』の機能発揮支援アドバイザー派遣事業 実施結果

(小冊子：国土交通省資料)

- ・ 「10月は土地月間」
- ・ 「わかりやすい土地読本」

3. 来場者アンケート

※本日のご感想等ご記入ください。お帰りの際、回収させていただきます。